

1. 貧困の世代間連鎖について

家庭の経済状況と子どもの学力との間には一定の相関関係があり、学びや就職が希望どおりにならないことなどが相まって、子どもたちの貧困の世代間連鎖が危惧される状況にある。また、コロナ禍において、経済面でより厳しい家庭が増える中で、貧困対策に係る総合的な取組が必要とされている。

2. 貧困の世代間連鎖を断ち切るための取組について

本県においては、「第2期教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第3期高知県教育振興基本計画」に基づき、多様な課題を抱え厳しい環境にある子どもたちを支えるため、就学前から高等学校まで切れ目のない支援を行っている。（※「第2期高知県の子どもへの貧困対策推進計画」にも位置付け〈次ページ参照〉）

3. 現状と課題（就職アドバイザー・スクールソーシャルワーカーの聞き取りより）

【課題認識】

- 学力だけでは貧困の世代間連鎖を断ち切ることは難しい
教科指導だけではなく、児童生徒の実態に沿った多様な教育が必要
- 就学前からの早めの取組が必要である
- 児童生徒が自身の将来像をイメージできていない
- 職業に直結する資格・技術の習得が重要
- 児童生徒の生活状況の把握が十分でない場合がある

【必要な対応の視点】

- 就労等に導くための各校種段階におけるキャリア教育の充実
- 多様なロールモデルとの出会いの場の提供
- 産業系専門高校等に係る進路情報の充実、生活実態も踏まえた進路指導
- 産業教育の充実
- 外部専門家等と連携した生活把握の充実、支援制度等の周知強化



社会的自立に向けて、各校種や地域が連携したキャリア教育・進路指導等の取組強化が必要

【キャリア教育等に係る現在の取組】

就学前	小学校	中学校	高等学校
<ul style="list-style-type: none"> ○自発性・自主性、人と関わる力の育成に向けた取組の充実 → 園内研修の支援 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的意識の醸成や社会性の育成に向けた取組の充実 → 「キャリア・パスポート」の活用促進等（キャリア・パスポート活用推進連絡協議会：中高合同） → 企業・学校見学や就業体験・インターンシップ等の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○産業教育の充実 → 産業教育指導力の向上 等
<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体で子どもを見守り育てる取組の推進 → 地域学校協働活動の充実、コミュニティ・スクールにおける取組の充実、生活・文化・自然体験活動支援 等 			
<ul style="list-style-type: none"> ○自己の能力・適性の理解を深め、将来の進路を選択するための能力を養うための指導・支援の充実 		<ul style="list-style-type: none"> ○多様な学び・進路への対応等 → 専門人材の活用 → 遠隔教育の推進 	
<ul style="list-style-type: none"> ○保幼小の円滑な連携・接続の推進 → 保幼小連携・接続推進支援 等 			
<ul style="list-style-type: none"> ○保育者の親育ち支援力の強化 			
<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連携した情報共有 → スクールソーシャルワーカー等の活用、心の教育センターにおける相談支援 等 			

【取組強化に向けた視点】

- ✓キャリア教育等の取組について、各学校段階における到達目標・目指すべき児童生徒の姿の情報共有が必要ではないか
- ✓学校段階間の情報共有や経済的自立に向けた進路指導が必要ではないか
- ✓具体的なロールモデルを示していく必要があるのではないか
- ✓地域や関係機関と連携してキャリア教育をさらに充実させていく必要があるのではないか
- ✓産業系専門高校の魅力向上と、効果的な情報発信が必要ではないか
- ✓スクールソーシャルワーカー等との連携により、チームとしての実態把握、対応を強化すべきではないか
- 上記のような観点について、学校現場の意見等も踏まえ、具体的な施策へ反映

